

ヘルプマーク等配布しています

ヘルプマークは、内部障がい等により援助や配慮を必要としていることが、外見からはわからないかたが身に着けることで、周囲にいるかたからの援助を得やすくするものです。受け取る時は、申込書に氏名や必要な理由などを記入していただいています。

ヘルプカードは、必要な支援などを記入したものを周囲のかたに提示して必要な援助をお願いするものです。

●詳細 福祉係 ☎27-7368



○ヘルプカード



○ヘルプマーク

★市長だより★

77



本年1月から2月にかけて、各界で活躍され本市にゆかりのある、絵本作家のやしろまりこさん（長野県在住）、ラグビー選手の小山大輝さん（埼玉県在住）、日本を代表する中国料理シェフの脇屋友詞さん（東京都在住）の3名の方々に、新たに「星の降る里あしべつ応援大使」を委嘱させていただきました。本市の活性化やPR等にお力添えをいただくこととなりました。

やしろさんは、小学1年生から4年生まで芦別で過ごされ、昨年10月には本市の周年記念事業の1つとして市立図書館で紙芝居などの上演や「芦別っ子の魂、いつまでも」と題し、講演をいただき、もちを主人公とした「おもちぼん」シリーズの出版・製作など絵本・映像作家として活躍されています。

小山さんは、芦別出身で、芦別高校時代に日本代表に選ばれたほか、大学時代もU20日本代表に選抜され、卒業後、埼玉パナソニックワイルドナイツに入団、トップリーグの選手として活躍されています。

脇屋さんは、芦別のお生まれで、テレビ出演でも有名で、テレビ番組「アイアンシェフ」に、中華料理の「鉄人」として出演されるほか、都内で4店舗を展開されるなど首都圏で活躍され、道産食材のブランド化を進める北海道の「食のサポーター」も務められています。

これまでにご就任いただいている、元プロ野球選手の高橋慶彦さん、現法政大



2月19日、東京都内で中国料理のシェフとして活躍されている、脇屋友詞さんに、「星の降る里あしべつ応援大使」を委嘱させていただきました。

学教授の土山希美枝さん、映画監督の故大林宣彦さん、作家で探検家の角幡唯介さん、タレントでラジオパーソナリティのようへいさん、外交ジャーナリストで作家の手嶋龍一さんの6名の皆様について、この度のお三方のご就任により、本市の振興、まちづくりに一層寄与いただけるものと確信しており、大変ありがとうございました。心強く、感謝に堪えません。

これからもしつかり大使の皆さんと連携を取らせていただき、まちを元気に、そして、1歩でも前へ進められるよう取り組んでまいります。

2月4日、芦別唯一の冬のイベント、「第11回あしべつ雪まつり」が、芦別青年会議所関係者皆様を中心とする実行委員会主催により、今年も会場を道の駅から金子金物店様横の特設会場で開催され、多くの方々が会場に足を運ばれ、滑り台や雪像、スタンプラリーやグルメなどを楽しまれ賑わう中、子どもたちの喜ぶ笑顔をたくさん拝見しました。

本イベントに携われ、ご尽力いただいた皆様に改めて心から敬意と感謝を申し上げます。

また、同日には、市青少年健全育成市民の集いが総合福祉センターふれあいホールで開催され、文化やスポーツ分野で素晴らしい活動や成績を収められた市内小中高生8名の皆さんに顕彰を、「青少年の日」にちなんだ作文や「青少年育成運動」啓発標語で、特選・入選を果たされた児童・生徒15名の皆さんに表彰を行うとともに、これまでのご努力、ご活躍に心からの称賛と祝意を申し上げます。

芦別の未来を担う青少年の育成には、家庭や学校、地域がしっかりと連携し、適切な助言や相談、指導を行うことが重要でありますので、これからも、それぞれの役割のもと、育成活動に、市民皆様のご協力をお願いいたします。

3月7日から定例市議会が開催され、令和6年度の市政執行方針や各会計の予算等について審議されますが、私の今任期最期となる重要な年度との認識のもと、人口減少や少子高齢化への対応、加速化するデジタル技術や前例のないアフターコロナへの対応等様々な行政課題に真剣に向き合うとともに、市民の皆様が未来に希望をもって、安心して暮らし、住み続けたいと実感いただけるよう、全力で市政の推進に取り組みまいります。

春の訪れも間近となりつつありますが、市民皆様には、体調管理等ご自愛のほどお祈りいたします。（2月21日記）

芦別市長 荻原 貢